

2023年8月17日 全8頁

## Indicators Update

# 2023年7月貿易統計

輸入価格が下げ止まり貿易赤字（季節調整値）は前月から横ばいに

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2023年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.3%と29カ月ぶりに減少した。季節調整値では前月比+2.0%と、輸出数量の加速を主因に増加した。輸入金額は前年比▲13.5%と4カ月連続で減少した。季節調整値では前月比+2.0%と、輸入価格に下げ止まりの兆しが見られる中で2カ月連続の増加となった。貿易収支は▲787億円と2カ月ぶりの赤字となった。季節調整値では▲5,572億円と、6月と概ね同水準の赤字幅であった。
- 7月の輸出数量は前月比+3.5%と2カ月連続で増加した。均して見れば、輸出数量の回復傾向は鮮明化している。アジア向けの集積回路（IC）がけん引したほか、中国向けの半導体等製造装置が急増した。輸出数量を地域別に見ると、米国向け（同+7.1%）、EU向け（同+6.7%）、アジア向け（同+4.5%）のいずれも増加した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。半導体不足の緩和による挽回生産が加速する中、自動車などが輸出をけん引しよう。ただし、米欧ではタイトな金融環境の下で設備投資が下振れしやすく、日本からの資本財輸出が伸び悩む可能性がある。とりわけ半導体等製造装置については、半導体市場の不況や同装置の輸出規制の影響もあって低調となろう。

## 【貿易金額】輸出金額は29カ月ぶりの前年割れに

2023年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.3%と29カ月ぶりに減少した（図表1）。鉱物性燃料のほか、半導体や同製造装置が下押し要因となった。鉱物性燃料は、輸出の内訳の大部分を占める豪州、韓国、シンガポール向けの石油が減少したとみられる。他方、輸出額全体を季節調整値で見ると前月比+2.0%と、輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の加速を主因に2カ月連続で増加した（図表2左）。なお、前月比ベースで見れば半導体関連財は押し上げ要因となった。

輸入金額は前年比▲13.5%と4カ月連続で減少した。品目別では、石炭、原油及び粗油、液化天然ガスなどの輸入金額が大幅に減少した。税関長公示レートは同4.6%の円安だったが、資源価格の下落の影響がより強く表れている。輸入金額全体の季節調整値は前月比+2.0%と2カ月連続で増加した。内訳を見ると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は振れを伴いながらも横ばい圏で推移する一方、輸入価格には下げ止まりの兆しが見られる（図表2右）。

以上を受け、貿易収支は▲787億円と2カ月ぶりの赤字となった。季節調整値では▲5,572億円と、6月と概ね同水準の赤字幅であった（図表3）。2022年後半以降の貿易赤字の縮小は輸入価格の下落が主因だったが、上述のように輸入価格に下げ止まりの兆しが見られる中で、7月は赤字幅の縮小の服や交易条件の改善ペースの鈍化が見られた（p.6）。

図表1：貿易統計の概況

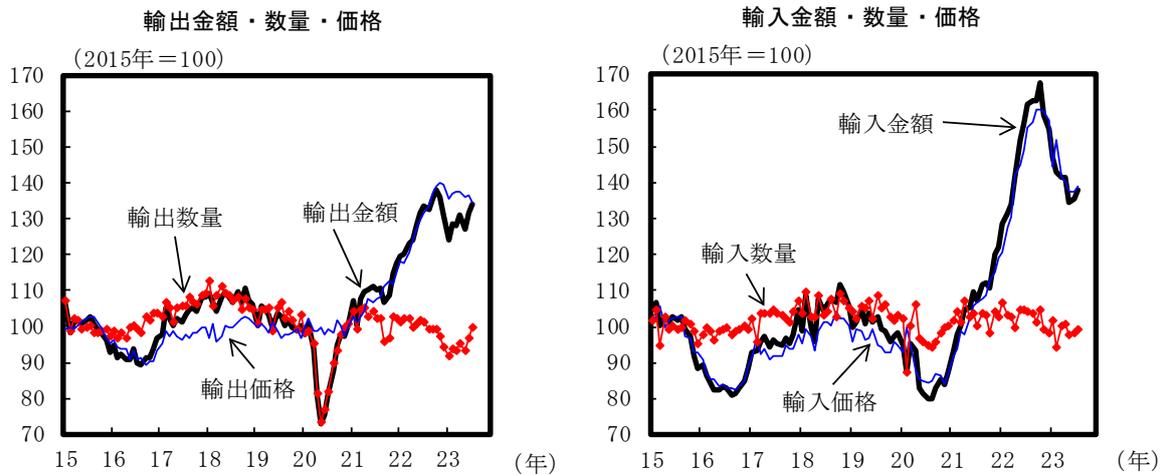
		2022年		2023年						
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原系列 前年比 %	輸出金額	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3
	コンセンサス									▲0.2
	DIRエコノミスト予想									▲0.8
	輸入金額	30.3	20.8	17.6	8.5	7.4	▲2.3	▲9.8	▲12.9	▲13.5
	輸出数量	▲3.6	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.0	▲6.4	▲4.8	▲3.2
	価格	24.4	19.9	16.1	15.5	13.6	9.2	7.4	6.6	3.0
	輸入数量	▲4.7	▲6.4	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.4	▲5.2	▲6.0	▲4.3
季節 調整値 前月比 %	価格	36.7	29.0	20.4	17.8	10.2	▲2.0	▲4.9	▲7.4	▲9.6
	貿易収支(億円)	▲20,319	▲14,586	▲35,064	▲9,199	▲7,588	▲4,364	▲13,821	431	▲787
	輸出金額	▲1.2	▲3.6	▲5.4	3.8	▲0.7	2.5	▲3.1	3.6	2.0
	数量	▲1.8	▲3.5	▲2.7	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0	3.3	3.5
	価格	0.6	▲0.1	▲2.8	1.1	0.1	0.3	▲1.2	0.2	▲1.5
	輸入金額	▲5.2	▲2.5	▲5.2	▲2.6	▲1.0	▲0.1	▲5.1	0.6	2.0
	数量	▲5.2	▲0.8	3.2	▲7.4	6.3	0.6	▲2.8	0.6	1.0
貿易収支(億円)	価格	▲0.1	▲1.7	▲8.2	5.2	▲6.8	▲0.6	▲2.4	0.0	1.1
	税関長公示レート	146.43	137.90	132.08	130.38	134.97	132.23	135.31	139.24	142.32

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

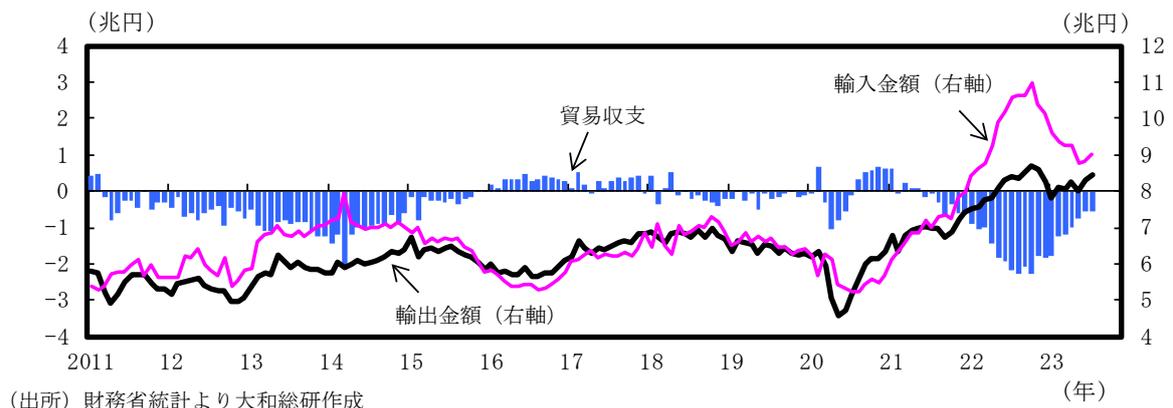
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



## 【輸出数量】アジア向け半導体関連財が押し上げ輸出数量の回復が加速

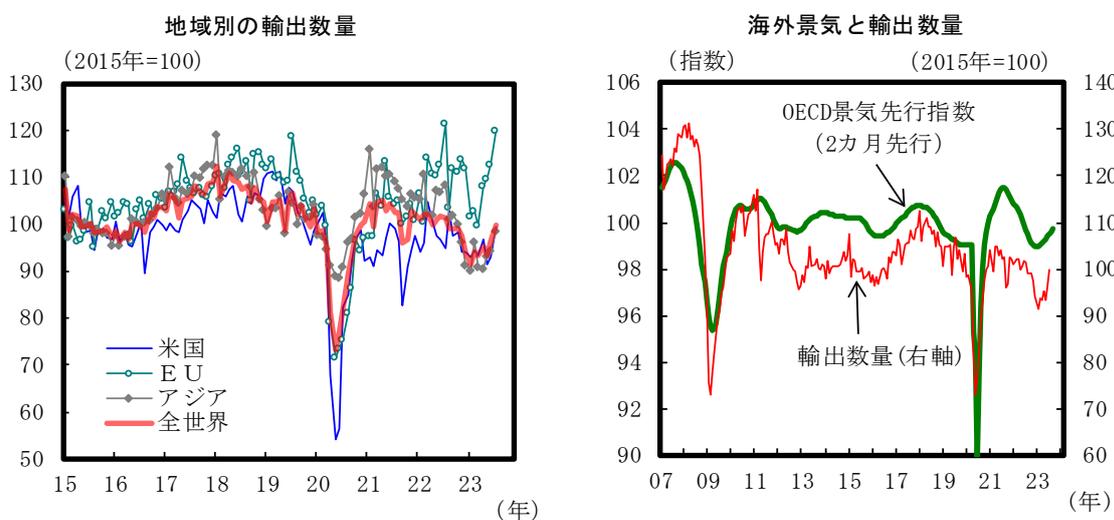
7月の輸出数量は前月比+3.5%と2カ月連続で増加し、前月（同+3.3%）から加速した。均して見れば、輸出数量の回復傾向は鮮明化している。品目別では、アジア向けの集積回路（IC）がけん引したほか、中国向けの半導体等製造装置が急増した。自動車は米国向けが増加したが、その他の地域向けが低調となり、合計では輸出を下押しした。輸出数量を地域別に見ると、米国向け（同+7.1%）、EU向け（同+6.7%）、アジア向け（同+4.5%）のいずれも増加した。

米国向けは2カ月連続で増加した。自動車が全体を押し上げたほか、同部分品や鉄鋼も大幅に増加した。米国の自動車工業における稼働率は2023年3月を底に上昇傾向が続いており、これに対応して自動車材料の輸出が押し上げられている可能性が高い。その他の品目では、電算機類の部分品や映像記録・再生機器などが増加した。なお、半導体等製造装置の輸出は低水準で推移している。CHIPS プラス法に対応した同装置の購入の動きが一巡したことに加え、政策金利の高止まりなどを背景に半導体メーカーの設備投資意欲が減退している可能性が示唆される。

EU向けは4カ月連続で増加した。自動車が減少した一方、同部分品やエンジンを含む原動機といった自動車関連財が全体を押し上げた。その他の品目では、医薬品、プラスチック、半導体等製造装置などが増加した。このところ欧州向け輸出をけん引している鉄鋼は、7月単月で見れば減少したものの、水準は依然として高い。

アジア向けは3カ月連続で増加した。ICが引き合いの強かった2021年並みの水準まで急増したほか、プラスチックや鉄鋼などその他の中間財も増加した。また、中国向け（前月比+1.7%）は、半導体等製造装置が同+75.4%と急増したことが押し上げ要因となった。7月23日からの日本の同装置の輸出規制を控えていたことから、駆け込み輸出が発生した可能性がある。また、中国で先端半導体の製造ラインの維持が難しくなることから、先端品向け以外の半導体製造装置への切り替えが進み、日本からの同装置の輸出を喚起した可能性もある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



**【見通し】 当面は自動車の増加と半導体等製造装置などの減少の綱引きか**

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。半導体不足の緩和による挽回生産が加速する中、最大の輸出品目である自動車や同関連財が輸出をけん引しよう。ただし、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしやすいことから、日本からの資本財輸出が伸び悩む可能性には注意が必要だ。とりわけ資本財の柱である半導体等製造装置については、半導体市場の不況や同装置の輸出規制の影響もあって弱含むとみている。

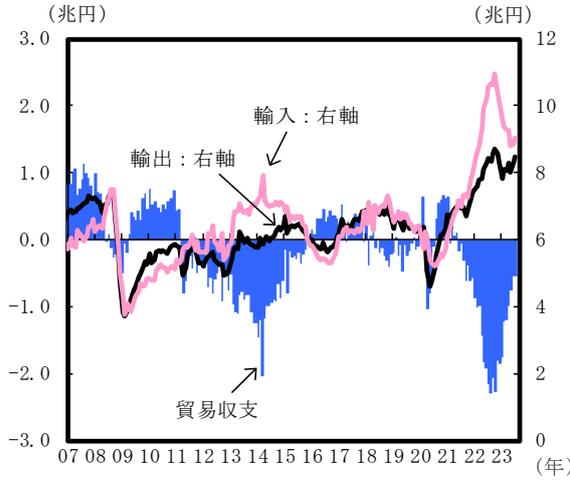
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばいで推移するとみている。米国では政策金利の上限が 5.50%と高水準に達しており、足元までの利上げの影響がタイムラグを伴って景気を下押しするとみられる。金融引き締めや銀行の貸し出し態度の厳格化もあって、とりわけ設備投資の減速が予想されることから、日本からの資本財輸出の下振れリスクには注意が必要だ。他方、依然として超過需要が蓄積している自動車が輸出を下支えするだろう。

欧州向けは均して見れば増加基調を辿るとみている。米国と同様に自動車輸出の回復が期待されることに加え、鉄鋼製品についても高水準の輸出が継続するとみられる。他方、欧州向け輸出の主力は一般機械などの資本財であり、日本からの輸出は欧州域内の生産動向に左右されやすい。この点、欧州の鉱工業生産指数は伸び悩んでおり、政策金利の高さも相まって資本財需要の低迷が懸念される。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国の 4-6 月期の実質 GDP は前年比+6.3%と景気回復の継続を示唆する内容であり、日本から見た外需は着実に回復している。ただし、民営企業の不調や若年層の高失業率による消費の低迷もあって回復ペースは鈍い。日本による先端半導体製造装置の輸出規制が始まったこともあって、日本からの輸出の持ち直しは緩やかなものにとどまるとみている。

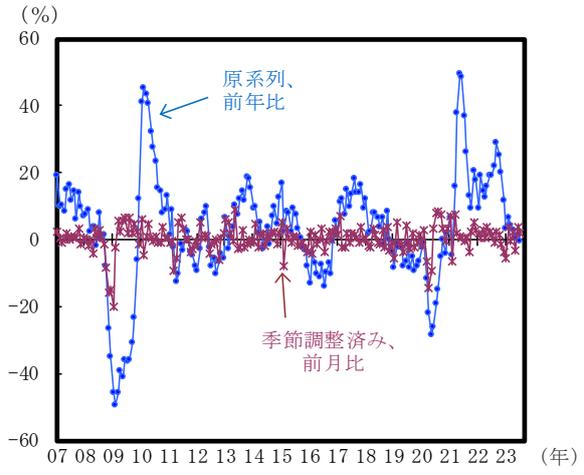
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

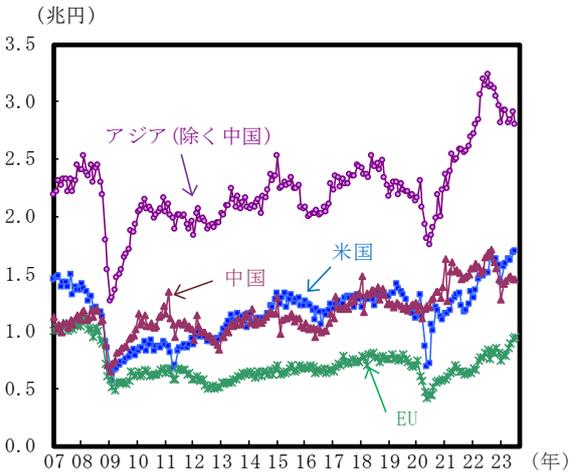


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

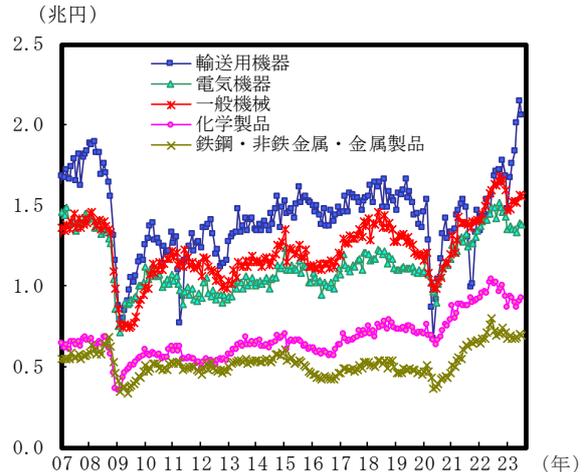


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

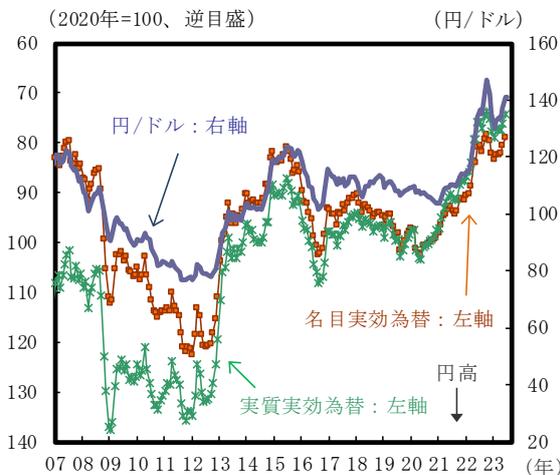


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

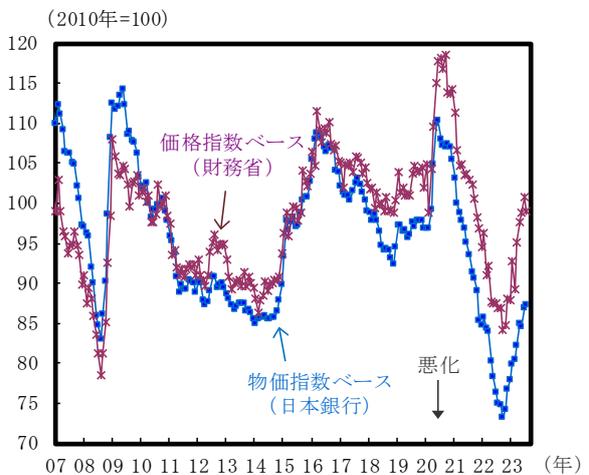


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3	100.0	▲0.3
食料品	18.5	13.1	7.1	6.5	2.2	1.2	1.2	0.0
原料品	1.7	▲0.8	▲11.0	▲16.0	▲8.2	▲2.5	1.5	▲0.0
鉱物性燃料	16.9	13.1	▲25.7	▲48.0	▲55.5	▲60.0	0.9	▲1.4
化学製品	▲2.1	▲3.2	▲6.3	▲15.0	▲13.0	▲8.8	10.6	▲1.0
原料別製品	3.0	1.1	▲4.3	▲7.5	▲10.2	▲2.7	11.4	▲0.3
鉄鋼	3.0	▲0.7	▲3.0	▲10.2	▲16.8	▲4.9	4.3	▲0.2
非鉄金属	4.5	10.9	▲9.0	▲8.4	▲8.0	▲0.9	2.5	▲0.0
金属製品	▲4.0	▲7.7	▲7.0	▲6.0	▲3.0	0.2	1.4	0.0
一般機械	1.4	1.7	▲0.1	▲3.6	▲1.5	▲4.5	18.2	▲0.8
電気機器	▲1.7	▲4.5	▲4.3	▲8.0	▲6.3	▲7.3	16.4	▲1.3
半導体等電子部品	0.5	3.2	▲6.5	▲12.1	▲10.7	▲14.8	5.1	▲0.9
I C	5.1	10.3	▲2.5	▲10.4	▲8.1	▲13.5	3.6	▲0.6
映像機器	▲14.8	▲17.8	▲12.4	4.3	▲5.3			
映像記録・再生機器	2.0	4.4	12.6	18.7	▲14.2	1.5	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	4.3	▲15.9	▲4.8	▲13.9	10.2	▲7.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲2.9	▲8.4	▲7.2	▲9.5	▲9.2	▲10.5	2.2	▲0.3
輸送用機器	16.1	23.0	19.8	38.9	38.0	22.7	25.2	4.7
自動車	23.5	38.3	29.2	66.3	49.7	28.2	18.2	4.0
自動車の部分品	▲11.0	▲13.6	▲7.4	▲1.7	5.3	10.2	4.1	0.4
その他	20.0	2.5	10.3	8.5	3.1	▲0.7	14.5	▲0.1
科学光学機器	6.8	7.4	12.7	8.3	▲5.6	▲9.8	2.5	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	14.9	9.4	10.5	9.4	11.7	13.5	100.0	13.5
食料品	6.9	▲16.4	▲7.3	▲11.3	▲10.5	23.4	0.9	0.2
原料品	9.4	▲26.6	▲41.6	▲64.8	▲53.4	▲23.3	0.4	▲0.1
鉱物性燃料	▲5.6	112.3	▲50.2	▲74.0	▲58.0	▲52.3	0.5	▲0.6
化学製品	15.2	4.5	4.1	▲22.6	▲14.6	3.7	6.6	0.3
原料別製品	24.1	6.5	0.8	▲6.3	▲9.4	16.0	6.4	1.0
鉄鋼	51.6	23.2	8.9	11.4	▲30.9	32.3	1.3	0.4
非鉄金属	37.5	43.7	17.5	▲29.9	▲2.2	12.3	0.9	0.1
金属製品	1.2	▲22.0	▲7.0	▲11.9	▲1.9	17.4	1.4	0.2
一般機械	11.8	0.9	8.3	▲3.2	3.3	▲1.8	22.0	▲0.5
電気機器	6.1	▲5.6	10.9	2.6	2.0	12.8	12.8	1.6
半導体等電子部品	▲11.5	2.0	3.9	▲8.2	▲2.5	4.4	1.3	0.1
I C	▲19.0	4.9	33.5	▲2.9	18.2	7.5	0.6	0.0
映像機器	▲2.4	▲8.7	▲6.9	18.5	▲9.2			
映像記録・再生機器	▲19.0	▲17.8	▲5.3	3.7	▲19.5	▲7.8	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	24.6	▲4.3	46.3	27.9	68.0	77.7	0.2	0.1
電気回路等の機器	17.9	4.0	6.7	▲1.0	4.5	10.6	1.3	0.1
輸送用機器	14.1	37.2	17.7	61.4	44.4	32.9	39.0	11.0
自動車	13.7	59.9	23.1	81.9	56.5	34.1	31.5	9.1
自動車の部分品	4.7	▲24.5	▲0.3	▲1.4	0.4	23.6	5.7	1.2
その他	33.4	▲5.3	16.2	17.1	14.8	4.8	11.4	0.6
科学光学機器	31.0	20.5	6.7	9.2	6.1	▲5.0	2.3	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.6	5.1	11.8	16.6	15.0	12.4	100.0	12.4
食料品	54.2	▲13.6	15.1	6.4	8.3	22.8	0.6	0.1
原料品	4.8	▲19.3	1.4	2.7	0.6	▲17.3	0.8	▲0.2
鉱物性燃料	▲16.2	▲85.3	▲89.8	16.6	▲3.8	▲58.4	0.1	▲0.2
化学製品	11.0	▲10.2	▲12.6	▲10.2	▲8.4	▲8.6	10.4	▲1.1
原料別製品	17.9	10.2	3.2	7.4	8.5	5.4	7.9	0.5
鉄鋼	23.3	39.3	▲19.2	3.6	15.9	▲1.8	2.0	▲0.0
非鉄金属	77.3	30.0	55.9	44.6	28.5	5.3	1.1	0.1
金属製品	5.8	▲2.1	0.1	10.9	8.4	15.3	1.4	0.2
一般機械	11.1	▲4.2	▲3.5	3.9	9.2	13.0	22.3	2.9
電気機器	6.4	▲1.5	9.6	▲1.3	1.3	7.8	16.1	1.3
半導体等電子部品	4.8	8.5	13.8	▲1.8	2.0	1.6	1.9	0.0
I C	▲9.4	▲3.8	6.4	▲14.1	▲12.2	▲19.6	0.6	▲0.2
映像機器	9.8	11.4	▲10.0	3.5	▲29.1			
映像記録・再生機器	10.7	12.0	4.4	10.1	▲31.3	▲1.1	0.8	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲28.6	▲32.0	▲24.0	▲45.7	▲27.1	▲32.3	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	12.3	7.0	14.1	6.7	5.0	5.1	1.6	0.1
輸送用機器	59.2	27.0	58.5	76.2	63.4	38.1	28.3	8.8
自動車	122.0	79.3	94.8	141.6	78.8	55.3	20.2	8.1
自動車の部分品	▲22.5	▲24.4	▲10.6	1.5	9.0	23.2	4.7	1.0
その他	5.5	13.8	12.2	23.8	▲0.3	2.0	13.8	0.3
科学光学機器	12.2	8.0	20.5	4.6	▲9.3	▲9.3	3.8	▲0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.3	▲1.1	▲6.3	▲8.1	▲8.4	▲13.2	100.0	▲13.2
食料品	20.4	24.5	9.9	11.0	5.9	▲6.2	1.6	▲0.1
原料品	▲0.0	2.3	▲9.3	▲10.7	▲4.8	2.7	2.6	0.1
鉱物性燃料	▲6.4	▲7.0	▲37.9	▲27.4	▲32.9	▲64.6	1.1	▲1.8
化学製品	▲7.2	▲4.5	▲6.7	▲13.6	▲13.0	▲11.8	14.8	▲1.7
原料別製品	▲3.4	▲2.7	▲11.6	▲15.0	▲14.5	▲11.2	14.6	▲1.6
鉄鋼	▲6.3	▲8.8	▲9.3	▲21.4	▲22.4	▲18.2	5.6	▲1.1
非鉄金属	1.0	11.9	▲17.9	▲9.8	▲9.3	▲2.0	4.2	▲0.1
金属製品	▲10.7	▲10.4	▲15.1	▲13.3	▲14.5	▲13.3	1.4	▲0.2
一般機械	▲4.3	3.2	▲4.0	▲5.4	▲8.7	▲12.5	17.8	▲2.2
電気機器	▲5.4	▲6.1	▲11.3	▲12.8	▲10.5	▲15.0	21.4	▲3.3
半導体等電子部品	1.0	2.8	▲8.3	▲13.1	▲11.3	▲16.3	8.9	▲1.5
I C	6.3	10.8	▲3.9	▲10.7	▲8.7	▲14.1	6.7	▲1.0
映像機器	▲27.7	▲29.5	▲17.0	▲1.0	▲1.4			
映像記録・再生機器	15.7	15.2	32.9	33.5	▲1.3	6.2	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲1.2	▲18.1	▲16.9	▲19.4	▲3.0	▲18.0	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲7.4	▲11.2	▲12.9	▲14.1	▲13.9	▲16.2	3.1	▲0.5
輸送用機器	▲1.0	▲5.0	▲8.0	14.3	7.9	▲16.2	8.6	▲1.4
自動車	2.0	▲7.4	▲0.2	39.1	9.2	▲9.4	4.9	▲0.4
自動車の部分品	▲21.2	▲8.6	▲18.2	▲9.5	▲4.1	▲9.2	2.9	▲0.3
その他	14.8	5.5	6.1	0.2	▲1.5	▲7.1	17.6	▲1.2
科学光学機器	▲2.5	2.8	12.3	9.0	▲11.7	▲12.7	2.8	▲0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.9	▲7.7	▲2.9	▲3.4	▲10.9	▲13.4	100.0	▲13.4
食料品	33.9	21.3	7.6	21.2	4.8	▲23.9	1.2	▲0.3
原料品	0.4	13.4	9.8	0.6	▲9.3	3.0	2.9	0.1
鉱物性燃料	285.0	44.3	▲25.8	17.8	▲58.2	▲51.3	0.9	▲0.8
化学製品	▲8.6	▲1.8	▲1.6	▲5.7	▲8.9	▲8.7	17.1	▲1.4
原料別製品	▲16.2	▲10.2	▲18.2	▲18.9	▲19.6	▲16.8	11.1	▲1.9
鉄鋼	▲28.9	▲37.8	▲27.2	▲26.5	▲30.2	▲30.1	2.6	▲1.0
非鉄金属	▲8.2	24.4	▲18.9	▲22.5	▲20.1	▲7.8	4.0	▲0.3
金属製品	▲16.8	▲17.8	▲13.5	▲13.7	▲19.3	▲20.4	1.4	▲0.3
一般機械	▲11.8	2.0	9.4	▲3.0	1.2	▲2.8	23.5	▲0.6
電気機器	▲12.1	▲11.3	▲10.8	▲3.2	▲11.7	▲20.7	21.1	▲4.7
半導体等電子部品	1.6	14.9	2.5	14.3	▲12.8	▲16.8	7.4	▲1.3
I C	9.5	33.3	12.5	28.4	▲10.9	▲19.4	5.2	▲1.1
映像機器	▲38.4	▲46.9	▲23.9	▲17.5	▲22.0			
映像記録・再生機器	20.1	15.5	70.3	36.4	▲4.7	3.4	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲23.1	▲37.9	▲39.5	▲36.8	▲14.4	▲44.1	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲15.9	▲20.1	▲18.6	▲11.7	▲14.9	▲25.2	3.2	▲0.9
輸送用機器	▲43.5	▲48.4	▲28.9	10.3	▲10.1	▲24.6	9.0	▲2.5
自動車	▲34.2	▲62.7	▲27.3	50.5	▲7.6	▲23.5	6.3	▲1.7
自動車の部分品	▲58.1	▲31.2	▲34.5	▲28.1	▲16.6	▲30.5	2.5	▲0.9
その他	7.8	▲6.2	26.2	4.9	▲20.5	▲9.0	13.3	▲1.1
科学光学機器	▲3.0	▲2.3	9.3	▲1.2	▲9.7	▲7.9	3.2	▲0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成